

平成21年9月期 第1四半期決算短信

平成21年1月30日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 サイバーエージェント
 コード番号 4751 URL <http://www.cyberagent.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 藤田 晋
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 中山 豪
 四半期報告書提出予定日 平成21年2月13日

TEL 03-5459-0202

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年9月期第1四半期の連結業績(平成20年10月1日～平成20年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年9月期第1四半期	23,343	—	721	—	704	—	73	—
20年9月期第1四半期	20,801	15.0	1,854	98.7	1,780	108.6	171	△55.5

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年9月期第1四半期	113.88	—
20年9月期第1四半期	263.13	262.39

(注)平成21年9月期第1四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益は、希薄化効果を有する株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	百万円	百万円		
21年9月期第1四半期	58,705	29,495	40.7	36,852.38		
20年9月期	62,911	30,146	38.5	37,317.27		

(参考)自己資本 21年9月期第1四半期 23,892百万円 20年9月期 24,194百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
20年9月期	—	—	—	700.00	700.00
21年9月期	—	—	—	—	—
21年9月期(予想)	—	—	—	700.00	700.00

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年9月期の連結業績予想(平成20年10月1日～平成21年9月30日)

(注)連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

平成20年11月11日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。

4. その他

(1)期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2)簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無

(3)四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 有
 ② ①以外の変更 無

(4)発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年9月期第1四半期 648,343株 20年9月期 648,343株
 ② 期末自己株式数 21年9月期第1四半期 一株 20年9月期 一株
 ③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年9月期第1四半期 648,343株 20年9月期第1四半期 651,958株

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社グループで判断したものであり、リスクや不確定な要素等の要因が含まれており、実際の成果や業績等は記載の見通しとは異なる可能性があります。

2. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

国内のインターネットビジネス市場は、ブロードバンド環境の普及や携帯電話の定額料金制導入等によって市場成長が続いております。(株)電通の発表によりますと、インターネット広告市場は、平成18年4,826億円、平成19年前年比24.4%増の6,003億円となり、ラジオ広告および雑誌広告を超える規模まで拡大しております。インターネットビジネスは、インターネットメディアの多様なサービス展開、EC市場の拡大、新サービスの可能性と、今後もさらに広がっていくものと思われまます。

このような環境のもと、当社グループは、ブログメディア「Ameba」を中心としたグループメディアの強化、インターネット広告代理事業による営業力強化、両事業の強みを活かした投資育成事業の展開に引き続き努めてまいりました。特にブログメディア「Ameba」につきましては、グループメディアの中核に育てるため、PV（閲覧数）を最重要指標として先行投資を継続してまいりました。

このような結果、当社グループの当第1四半期連結会計期間の売上高は、メディア（コマース）事業、インターネット広告代理事業、メディア（広告・課金・コンテンツ）事業におけるモバイル関連事業等が堅調に推移したこと等により、23,343百万円（前年同期間20,801百万円、12.2%増加）となりました。営業利益に関しましては、メディア（コマース）事業及びメディア（広告・課金・コンテンツ）事業におけるモバイル広告、外国為替証拠金取引等の業績は堅調に推移しましたが、前第1四半期連結会計期間に投資育成事業において保有株式の売却が業績に貢献した影響により、721百万円（前年同期間1,854百万円、61.1%減少）となりました。当期純利益に関しましては、法人税及び法人税等調整額を含めた税金費用の計上等により、73百万円（前年同期間171百万円、57.0%減少）となりました。

① メディア（ブログ関連）事業

メディア（ブログ関連）事業には、当社運営のブログメディア「Ameba」、(株)マイクロアド運営のブログを中心とした広告配信サービス「MicroAd」、(株)サイバー・バズにおける影響力の強いブロガー（インフルエンサー）をネットワーク化し、ブログを介してクチコミ派生を実現するクチコミマーケティング事業等が属しております。当事業におきましては、ブログメディア「Ameba」のPV（閲覧数）増加を最重要指標として先行投資を継続し、平成20年12月のPV数は63.6億PVと前年同月の25.7億PVと比べて37.9億PV増と大幅に増加しました。

このような結果、メディア（ブログ関連）事業の売上高は1,166百万円（前年同期間714百万円、63.2%増加）、営業損益は312百万円の損失計上（前年同期間517百万円の損失計上）となりました。

② メディア（広告・課金・コンテンツ）事業

メディア（広告・課金・コンテンツ）事業には、(株)シーエー・モバイルグループ運営のモバイルポータル「ixen」を中心としたモバイル広告、(株)ECナビにおける価格比較サイト、(株)ジークレストにおけるオンラインゲーム課金、(株)サイバーエージェントFXによる外国為替証拠金取引等が属しております。当事業におきましては、積極的な広告宣伝を行い会員数が順調に増加した結果、売上高は7,809百万円（前年同期間5,595百万円、39.6%増加）、営業損益は863百万円の利益計上（前年同期間639百万円の利益計上、35.1%増加）となりました。

③ メディア（コマース）事業

メディア（コマース）事業には、(株)ネットプライス運営のギャザリング（共同購入）等のオンラインショッピング事業が属しております。当事業におきましては、引き続き経費削減に努めながら、景気低迷に対応した低価格戦略による売上高増加に注力するとともに、グローバルショッピング事業「sekaimon」等の海外関連の新規事業にも取り組んでまいりました。

このような結果、メディア（コマース）事業の売上高は4,765百万円（前年同期間4,383百万円、8.7%増加）、営業損益は266百万円の利益計上（前年同期間245百万円の利益計上、8.8%増加）となりました。

④ インターネット広告代理事業

インターネット広告代理事業には、当社インターネット広告事業本部を中心とした広告代理事業やSEM（検索エンジンマーケティング）事業、アドネットワーク事業等が属しております。当事業におきましては、景気の悪化が広告市況に影響を及ぼす中、顧客ニーズに沿った提案を行い、広告出稿の獲得に努めてまいりました。

このような結果、インターネット広告代理事業の売上高は10,535百万円（前年同期間9,639百万円、9.3%増加）、営業損益は23百万円の損失計上（前年同期間80百万円の利益計上）となりました。

⑤ 投資育成事業

投資育成事業には、当社におけるコーポレートベンチャーキャピタル事業、(株)サイバーエージェント・インベストメントにおけるファンド運営等が属しており、キャピタルゲインを目的とした有望なベンチャー企業の発掘・育成・価値創造等を行っております。当事業におきましては、保有株式の売却等により、売上高は36百万円（前年同期間1,745百万円、97.9%減少）、営業損益は71百万円の損失計上（前年同期間1,406百万円の利益計上）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期末の総資産は、前連結会計年度末と比べて4,205百万円減少し、58,705百万円となりました。これは、主に外国為替取引顧客預託金が4,157百万円減少したこと等によるものであります。

負債は、前連結会計年度末と比べて3,554百万円減少し、29,210百万円となりました。これは、主に外国為替取引顧客預り証拠金が3,493百万円減少したこと等によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末と比べて651百万円減少し、29,495百万円となり、自己資本比率は40.7%となりました。これは、主に配当金の支払等により利益剰余金が186百万円減少したこと、運営する投資ファンドの分配金の支払等により少数株主持分が352百万円減少したこと等によるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

下記のとおり、平成20年11月11日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円
通 期	97,000	4,700	4,500	1,200

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）
該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①簡便な会計処理

該当事項はありません。

②四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13,957	13,389
受取手形及び売掛金	10,952	10,799
有価証券	100	1,360
たな卸資産	473	409
営業投資有価証券	2,781	2,935
外国為替取引顧客預託金	9,552	13,710
外国為替取引顧客差金	4,897	5,574
繰延税金資産	—	480
その他	4,339	3,432
貸倒引当金	△54	△59
流動資産合計	47,001	52,032
固定資産		
有形固定資産	2,048	1,782
無形固定資産	3,221	3,083
のれん	1,556	1,595
その他	1,665	1,488
投資その他の資産	6,433	6,013
固定資産合計	11,704	10,879
資産合計	58,705	62,911
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,863	6,798
短期借入金	2,346	437
外国為替取引顧客預り証拠金	14,700	18,193
未払法人税等	—	1,037
引当金	508	518
ポイント引当金	508	518
繰延税金負債	—	23
その他	4,561	5,312
流動負債合計	28,979	32,322
固定負債		
社債	—	200
長期借入金	176	216
繰延税金負債	—	9
その他	55	16
固定負債合計	231	442
負債合計	29,210	32,764

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,771	6,771
資本剰余金	5,106	5,106
利益剰余金	12,349	12,535
株主資本合計	24,227	24,413
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△208	△180
為替換算調整勘定	△126	△39
評価・換算差額等合計	△334	△219
新株予約権	8	5
少数株主持分	5,593	5,946
純資産合計	29,495	30,146
負債純資産合計	58,705	62,911

(2) 四半期連結損益計算書
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	当第1四半期連結累計期間 (自 平成20年10月1日 至 平成20年12月31日)
売上高	23,343
売上原価	15,241
売上総利益	8,102
販売費及び一般管理費	7,380
営業利益	721
営業外収益	
受取利息	13
有価証券売却益	22
持分法による投資利益	17
その他	10
営業外収益合計	63
営業外費用	
支払利息	5
消費税等調整額	47
その他	27
営業外費用合計	80
経常利益	704
特別利益	
貸倒引当金戻入額	1
その他	0
特別利益合計	1
特別損失	
固定資産除却損	56
支払補償損失	34
その他	5
特別損失合計	95
税金等調整前四半期純利益	609
法人税、住民税及び事業税	323
法人税等調整額	151
法人税等合計	474
少数株主利益	61
四半期純利益	73

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

- (3) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(4) セグメント情報

a. 事業の種類別セグメント情報

当第1四半期連結累計期間(自平成20年10月1日 至平成20年12月31日)

	メディア(ブ ログ関連) (百万円)	メディア(広 告・課金・ コンテンツ) (百万円)	メディア (コマース) (百万円)	インターネッ ト広告代理 (百万円)	投資育成 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高								
(1) 外部顧客に対する 売上高	872	7,243	4,764	10,426	36	23,343	—	23,343
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	293	565	0	109	—	969	(969)	—
計	1,166	7,809	4,765	10,535	36	24,312	(969)	23,343
営業利益	△312	863	266	△23	△71	723	(2)	721

(注) 1 事業の区分は、内部管理上採用している区分によっております。

2 各区分の主な商品

(1) メディア(ブログ関連)事業

「Ameba」の運営、ブログ中心の広告配信「MicroAd」の運営、クチコミ事業等

(2) メディア(広告・課金・コンテンツ)事業

PC及びモバイルメディアの運営、オンラインゲーム事業、外国為替証拠金取引、コンテンツ提供等

(3) メディア(コマース)事業

オンラインショッピング事業、出版事業等

(4) インターネット広告代理事業

広告代理事業、SEM(検索エンジンマーケティング)事業、アドネットワーク事業、広告制作等

(5) 投資育成事業

コーポレートベンチャーキャピタルによる投資、ファンド運営等

b. 所在地別セグメント情報

当第1四半期連結累計期間(自平成20年10月1日 至平成20年12月31日)

本邦の売上高及び資産の金額は、全セグメントの売上高の合計及び全セグメントの資産の金額の合計額に占める割合がいずれも90%超であるため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

c. 海外売上高

当第1四半期連結累計期間(自平成20年10月1日 至平成20年12月31日)

連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

- (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

「参考資料」

前年同四半期に係る財務諸表等

(1) (要約) 四半期連結損益計算書

科目	前年同四半期 (平成20年9月期 第1四半期)
	金額(百万円)
I 売上高	20,801
II 売上原価	12,901
売上総利益	7,900
III 販売費及び一般管理費	6,046
営業利益	1,854
IV 営業外収益	24
1. 受取利息	7
2. 有価証券利息	2
3. デリバティブ評価益	0
4. その他	13
V 営業外費用	97
1. 支払利息	2
2. 有価証券評価損	0
3. 投資有価証券評価損	2
4. 消費税等調整額	14
5. 為替差損	32
6. 持分法による投資損失	32
7. 貸倒引当金繰入額	7
8. その他	5
経常利益	1,780
VI 特別利益	45
1. 貸倒引当金戻入益	6
2. 持分変動益	38
VII 特別損失	706
1. 投資有価証券評価損	683
2. 固定資産除却損	2
3. 臨時償却費	21
税金等調整前四半期純利益	1,119
税金費用	780
少数株主利益	167
四半期純利益	171

(2) セグメント情報

a. 事業の種類別セグメント情報

前年同四半期 (平成20年9月期第1四半期)

	メディア (ブ ログ関連) (百万円)	メディア (広 告・課金・コ ンテンツ) (百万円)	メディア (コマース) (百万円)	インターネッ ト広告代理 (百万円)	投資育成 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
I 売上高及び 営業損益								
売上高								
(1) 外部顧客に対する売 上高	337	4,811	4,376	9,531	1,745	20,801	—	20,801
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	377	783	7	107	—	1,276	(1,276)	—
計	714	5,595	4,383	9,639	1,745	22,078	(1,276)	20,801
営業費用	1,232	4,955	4,138	9,558	338	20,223	(1,276)	18,947
営業利益又は 営業損失 (△)	△517	639	245	80	1,406	1,854	—	1,854

(注) 1 事業の区分は、内部管理上採用している区分によっております。

2 各事業区分の内容

(1) メディア (ブログ関連) 事業

「Ameba (アマーバブログ)」の運営、ブログ中心の広告配信「MicroAd」の運営、クチコミ事業等

(2) メディア (広告・課金・コンテンツ) 事業

PC及びモバイルメディアの運営、オンラインゲーム事業、外国為替証拠金取引、コンテンツ提供等

(3) メディア (コマース) 事業

オンラインショッピング事業、出版事業等

(4) インターネット広告代理事業

広告代理事業、SEM (検索エンジンマーケティング) 事業、アドネットワーク事業、広告制作等

(5) 投資育成事業

コーポレートベンチャーキャピタルによる投資、ファンド運営等

b. 所在地別セグメント情報

前年同四半期 (平成20年9月期第1四半期)

本邦の売上高及び資産の金額は、全セグメントの売上高の合計及び全セグメントの資産の金額の合計額に占める割合がいずれも90%超であるため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

c. 海外売上高

前年同四半期 (平成20年9月期第1四半期)

連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。